

# 28年12月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年12月1日～ 28年12月10日

## 2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
12月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### (1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/12月	29/1月	29/2月
仕入 動向	国産材製材品	△ 7.1	△ 14.3	△ 35.7
	外材製材品	0.0	△ 7.1	△ 42.9
	構造用集成材	8.3	△ 8.3	△ 41.7
消費 動向	国産材製材品	△ 14.3	△ 21.4	△ 35.7
	外材製材品	△ 14.3	△ 28.6	△ 35.7
	構造用集成材	8.3	△ 25.0	△ 41.7
在庫 動向	国産材製材品	0.0	△ 14.3	△ 21.4
	外材製材品	△ 7.1	△ 21.4	△ 42.9
	構造用集成材	△ 8.3	△ 33.3	△ 41.7

・プレカット加工用部材の仕入れは、12月の少しの減少、横ばいないし少しの増加が、1月は減少、2月は大きく減少。

・プレカット加工用部材の消費は、国産材、外材製材品は3ヵ月連続して減少。構造用集成材も1月、2月は減少に。

・プレカット加工用部材の在庫は、総じて減少傾向。

### (2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	28/12月	29/1月	29/2月
受注	7.1	△ 28.6	△ 42.9
加工	14.3	△ 28.6	△ 50.0
受注残	7.1	△ 14.3	△ 35.7

・プレカット工場の受注、加工及び受注残は、12月のやや増加から、1月、2月は減少傾向。

## モニターからのコメント

### (加工用部材荷動き)

- ・仕入、消費及び在庫は、冬場に向かい、減少傾向。
- ・2月の不需要期に向けて仕入れを絞る。2月の構造材集成材はかなり落ち込む。1月がどれ位追い込むのかが課題。不需要期に向けて在庫は絞っていきたいが、特に構造用集成材の入手が難しいかどうかで、在庫を横ばいにするかもしれない。
- ・先月に続きプレカット受注は好調。12月下旬までは続くのでは。（注文を受けた物のみ仕入れる）。基本的に余分な物は在庫しない。
- ・相変わらず、合板とRW集成材、WW集成材がタイト。
- ・年末までいっぱい状態。

### (受注動向)

- ・住宅着工減少に伴い、加工量は減少。
- ・12月の生産は1月へのずれとも考えられるため、（特に大型物件）予想が難しい。但し、1月21日から生産がかなり減少するのは例年通りと思う。